

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・入学、就職、ゴールデンウィークでイベントがあり、人が動く時期なので、きめ細かく対応すれば売上は確保できる。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・いろいろなどころで値下げが始まっている。定額給付金の給付により元気が出てくるのではと期待している。
		自動車備品販売店（経営者）	・高速道路料金引下げ等、期待できる要素は多少あるので、少しは良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・土日の高速道路料金引下げ、定額給付金等による影響が多少ではあるが見られる。
		スナック（経営者）	・来月、定額給付金の給付と地元のイベントもあるので、良い方向に行くことが期待される。
		観光型ホテル（営業担当）	・高速道路料金引下げによる観光客増加の期待、テレビドラマによる地元の取り上げ、市が主催する定額給付金のキャンペーンのイベント等により、企業、商店に多少の盛り上がりがある。
		旅行代理店（従業員）	・夏以降の海外旅行の申込が出てきているので、夏以降の販売額、販売量共に伸びることが期待される。
		旅行代理店（支店長）	・定額給付金や高速道路料金引下げなど、業界にとって良い材料が出てきている。海外旅行も4月以降は燃油サーチャージが大幅引下げで、今よりは良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・物販は相変わらず悪い。飲食は安いところには人が立ち寄るので今のままである。
		商店街（代表者）	・定額給付金、高速道路料金引下げ、地元の祭りがあるが、客の財布のひもが緩むとは考えにくい。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・地元の工業団地内の企業の状況を聞いてもまだ良い状況に向かう気配がない。
		百貨店（総務担当）	・高速道路料金引下げで旅館業、ホテル業が良くなれば、多少景気は向上するかもしれない。
		百貨店（営業担当）	・デパート業界は非常に厳しい。スーパーでは何千品目の値下げがあり、価格政策が非常に難しい。高い物は全く売れない。
		百貨店（販売促進担当）	・買い控えが進行し、小売、特に高額品を扱う百貨店の売上の回復は大変難しい。
		スーパー（店長）	・経費を抑え、仕入価格の交渉をしながら販売価格を安くする必要はある。
		コンビニ（店長）	・売上も変わっていないので、雇用や生活水準が減少することは無い。
		衣料品専門店（店長）	・景気は回復しておらず、消費者の動きが食品から衣料品への順なので、衣料業界は厳しい。
		乗用車販売店（営業担当）	・前年実績を大幅に下回っており、回復する要素が全く無い。
		乗用車販売店（販売担当）	・今後2～3か月先の状況が営業としては全く見えない。宣伝広告をしても来客数は極端に少なく、成約率も低い。どんな手を打っていいのかわからない。
乗用車販売店（営業担当）		・軽自動車を中心に、燃費効率の良い経済的な車への買換え相談が今までより多く聞かれるが、販売量は依然として増える見込みが立たない。	
乗用車販売店（管理担当）	・経済対策により、一時の消費は上向くが長続きはしない。雇用の促進や基幹産業の回復が見込まれない限り低迷は続く。		
住関連専門店（仕入担当）	・特需として県内では5月31日に火災警報器の義務化期限を迎える。また高速道路料金引下げ、定額給付金等プラスに働く要因は最大限利用し、マイナスの埋め合わせを期待したい。		
一般レストラン（経営者）	・4、5月は春の観光シーズンになるので、来客数の増加を見込めるが、団体客の減少で今月とあまり変わらない。		
通信会社（営業担当）	・現在の状況が一変するような事は考えにくく、世界情勢や国内需要、株価等のニュースから消費について消極的になっている状況はしばらく続く。		
通信会社（営業担当）	・昨今のメディアの報道なり、買物時の単価の動き等を見てみると良い方に向かっているとは考えづらい。		
通信会社（営業担当）	・周辺の企業はまだ先が見えず、不安な生活を強いられているため景気に明るい兆しは望めない。		
ゴルフ場（従業員）	・来場予約が昨年と同じくらいになっている。		

	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・もともと低単価で楽しめるアミューズメントパークは、景気が悪くても客が利用する部類に入るが、内容をみると、ネットカフェからゲーム、全国対戦できるインターネットのゲームに変化している。当然ながら景品もぬいぐるみから、フィギュア、フィギュアから低単価の食品へと変化している。こうした変化に対応することで、数字は戻している。
	設計事務所(所長)	・ずっと前から悪いままで変わらない。しばらくの間はこれ以上悪くもならないし、良くもならない。
	住宅販売会社(従業員)	・現在の受注見込み客の状況から、受注量はしばらく横ばい状態のまま推移する。
やや悪くなる	商店街(代表者)	・学販が済んでしまうと一般的なクラブ活動等のスポーツ用品の販売の時期であるが、世間の景気が悪いので、悪くなる。
	商店街(代表者)	・空き店舗が今月に入ってまた1店舗出た。他の空き店舗も入居がない。
	一般小売店[青果] (店長)	・当店の1.5キロ周囲にも1,500平方メートルクラスの小売店が2店舗ほどオープンする予定である。こういう状態では、ますます客が減り、売上が落ちる。
	百貨店(営業担当)	・売上は前年に比べてマイナス幅が若干広がっている状況である。客の様子を見てみると、まだまだ買い控えておりもっと慎重になる。
	百貨店(販売促進担当)	・昨今の経済状況の悪化、雇用不安が消費者の生活防衛意識を更に加速させる。必需品以外の消費は、更に縮小する。
	スーパー(総務担当)	・競合他社は営業時間短縮をしている。また、チラシの日替わり商品で来客数を維持している。
	スーパー(統括)	・既存店の不足人員3名の求人に45名の応募がある等、地域の就業状況は依然厳しく景気回復にはまだまだ時間が掛かる。
	コンビニ(経営者)	・当店近くの工業団地では派遣切りが起きており、これから厳しくなる。
	コンビニ(経営者)	・近隣の製造業などでは、週4日勤務のところもある。地域産業としては観光、農業などがあるが、期待できるものではない。
	コンビニ(店長)	・店内がいくぶん賑やかに見えたのは、定額給付金申請のための証明書コピーの客がいたためであり、物販は今後、派遣関係の方々の来店も更に減るので落ち込む。3月は過去20年間で最低の売上を記録した。
	乗用車販売店(従業員)	・3月決算での企業の低迷や、6月の賞与見直しで、状況は悪く、明るい材料が無い。
	住関連専門店(店長)	・近隣の雇用環境が相変わらず悪いままである。
	高級レストラン(店長)	・短期的に景気が回復する要因は何もなく、独自の販促でなんとか売上を維持しているものの、このような状態が続けば、体力の無い中小企業はかなり淘汰される。
	都市型ホテル(支配人)	・2、3か月先の予約が、前年までに比べ、減っている。
	旅行代理店(副支店長)	・賃金カットや週休3～4日体制がこのまま続けば旅行どころではない。その上、今年の雪不足のため、その関係の企業の収入減少が気に掛かる。景気は現状維持すら不可能である。
	遊園地(職員)	・高速道路料金引下げなど期待できる要素があるが、それ以上に所得減少によるレジャー支出抑制や出控え等の影響が懸念される。
	ゴルフ場(従業員)	・キャンセル続きで、来場者数は減少している。単価も依然低調気味で、平日は非常に集まりにくい。
	ゴルフ場(業務担当)	・売上は、客単価が5%くらい落ち込んでいる。向こう3か月については、価格について非常に敏感で、余計なもの、余分な買物をしない。売上はなかなか前年比を上回るの難しい。入場者確保は出来ても、売上はなかなか及ばない。
	競輪場(職員)	・他場の記念競輪の売上が前年度に比べ10%ほど減少している。
	設計事務所(所長)	・この先支払ができないかもしれないということで、解約を申し出る客が何人かいる。大変厳しい状況がしばらく続く。
	住宅販売会社(経営者)	・3月の決算結果で自動車関連等の悪化が見込まれ、関連の顧客は全体的に消費しないようになる。
悪くなる	一般小売店[家電] (経営者)	・建築関係の仕事が減少している。それに伴い商品の動き、買い換えの需要も期待出来ない。季節商材に期待をしたいが、客の購買意欲が見えず、消費者の動向が見えない。
	一般小売店[衣料] (経営者)	・地元基幹産業の従業員も仕事がない。一部の地域では商売が壊滅状態である。

		一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・得意先の飲食店の落ち込みがひどく、中には閉店する飲食店がある。
		衣料品専門店(店長)	・既存の小売店は、近隣に新たなショッピングモールが開店するため消費者の奪い合いになってしまい、全体的に悪化する。
		家電量販店(店長)	・明るい話題が少ない。小売に対して景気の回復基調が現れるのは遅いため、しっかりした景気対策や政策が打ち出されない限り、厳しい状況は変わらない。
		乗用車販売店(販売担当)	・来客数が圧倒的に少ない。販売台数、来客数共にかなり悪化している。このままいくと会社がつぶれてしまいそうである。
		一般レストラン(経営者)	・地元企業の仕事の受注について話を聞くと、大幅な下向き予想をしている。
		一般レストラン(経営者)	・同業者、異業種いろいろと話を聞いているが、非常に景気は良くない。店は段々淘汰される。良いところと悪いところがある。ただ、悪いところの方が非常に多い。
		スナック(経営者)	・先行きの不透明感が漂っている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・大手企業関係、製造部門関係が動かないと宿泊もさっぱりである。前年比15%くらい下がっている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ホテル、飲食関係が非常に多いなか、新しいホテルが開店するので脅威に感じている。
		旅行代理店(経営者)	・希望的事項が何も見当たらない。消費マインドがどんどん落ちている。
		タクシー運転手	・地方のタクシーの客はほとんどが社用で利用する人が多いが、景気が悪いので出張客が少ない。
		タクシー運転手	・企業も個人も無駄な出費を控える。
		タクシー(経営者)	・地域全体の景気が悪いので、この先も悪い。
		通信会社(経営者)	・ガソリン代が徐々に上がってきており、物価に反映しそうである。
		ゴルフ場(支配人)	・予約数は平日が最も悪く、前年比75%で、平日来場の多いシニア、女性客にも景気の波がどっと押し寄せている。
		美容室(経営者)	・3店舗くらいは閉鎖し、従業員は解雇するという動きで店主が動いている。
		美容室(経営者)	・売上が増加すると予想されている3月でさえ落ち込んだので、3か月先には更に悪くなる。
		設計事務所(所長)	・今月になってから全く物件情報が無く、今後の悪化を感じさせる。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる		
		プラスチック製品製造業(経営者)	・3月で在庫調整が終わり、4月以降、若干仕事量が戻る。
		一般機械器具製造業(経営者)	・新しい期になれば取引先各社に今まで控えていた試作開発案件の新たな動きが見込める。量産品に関しても大幅な戻りは期待できないが、5～6月になれば在庫調整が完了する取引先が数社あり、現状の発注ストップからの回復が見込める。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・自動車関連は大分在庫調整が進み、2～3か月後にはいくらか回復する。
		輸送業(営業担当)	・定額給付金の効果が期待され、物量的には回復してくる。小売業者のプライベートブランド商品やその他商品の値下げを行っているなかで、取引先より運賃の値下げを求められる場合があるが、仕事量は確保している状況である。
		金融業(経営企画担当)	・経済対策効果が現れ、新車購入諸経費減額による自家用車購入者増加が見込める等、景気後退の減速が見込める。
		新聞販売店〔広告〕(総務担当)	・ホームセンターの新規オープンが予定されている。また定額給付金目当ての売出し等の企画をいくつか耳にする。当地では4月5日からおよそ2か月間善光寺御開帳が予定されているため活気が予想される。
		経営コンサルタント	・存廃をかけた中小企業の整理淘汰が進み、存続した企業の活動が見えるという意味で多少の動きがある。
変わらない		食料品製造業(営業統括)	・高速道路料金引下げの効果は初日で170%という数字が出たが、まだ経済効果が出るほどではない。しばらくこの買い控えの状況は続く。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	・インターネット販売の動きがやや上昇気味ではあるが、状況が明るくなる要素は少ない。
		一般機械器具製造業(経営者)	・受注量は下げ止まりにあるが、2008年9月に比べて30%の状態を横ばいに推移する。
		電気機械器具製造業(経営者)	・在庫調整がされて、5月から6月には若干出てくると思いが、全く見通しが立っていない。

	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・メーカーからの受注状況を見ると、3月が底になっており、底ばいの状況が今後3～4か月は続く。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・設備投資の減少傾向は当面続く。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・倒産の噂が3～4件ある。
	金属製品製造業（経営者）	・取引先もこの1月から3月まで、産業機械の生産を大幅に減少しているおり、在庫も減少して適正になりつつある。5月ごろから注文も徐々に増えそうだが、工作機械はまだ厳しい。
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が激減し、全く先が見えないなかで、社員は交代で週3日くらい休んでもらっている。このまま続くと経営が成り立たないので、かなり厳しい。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・全体として、5月以降は前年より落ち込む。
	通信業（営業担当）	・身の回りの景気を見ても好転する材料が見当たらない。
	社会保険労務士	・3月末に派遣会社で大量解雇の見込みがあり、まだまだ景気は悪化する。
	司法書士	・同業の周囲を見回してみても、上向きになるといようなことは考えられない。確実に下がって行く。
悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・3月決算を迎え、非常に経営が厳しい企業が出てきて、国の思いとは違い、銀行からの借り入れを断られている企業も多く、その結果、消費者の生活はますます固くなる。
	化学工業（経営者）	・沈滞ムードが漂ったままである。新しい話も変わった話も何も出てこない。落ち込んだままで何も無いムードである。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年度末も、売上が期待できないまま終わりそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・今後の受注予測も目標の40%台となっており、増加する要素が見当たらない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・大手の宝飾業者も大幅なリストラをするなど防戦一方の状態である。信用不安をささやかれる会社もあり、今後業界内の景気が悪化する。リストラ、賃金カットの影響で更に景気が悪くなる。
	建設業（総務担当）	・現在の受注状況と工事進行状況だと、5月以降の資金繰りが大変厳しくなる。現況では金融機関からの追加融資が望めない。
	金融業（総務担当）	・支出各項目の予算枠が減少されており、今後も全体的に購入の延期や低価格品の選択等をしていかななくてはならないので、厳しい状況が続く。
	広告代理店（営業担当）	・販促広告の発注そのものが激減している状況は、何も変わっていない。前年比30%も売上が落ちている状況は、10年以上経験がない。当面も厳しいままである。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	-
	人材派遣会社（経営者）	・この3月で派遣や請負等の社員については大幅に解雇されるが、この4月は、高卒、大卒等の新卒者を企業形態としてはほぼ全業種である程度確保する形での需要が見込まれる。依然として一般の雇用形態は厳しい。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・現状では景気の回復は見当たらず、今後も引き続き雇用情勢は厳しい。
	民間職業紹介機関（経営者）	・在庫調整が終わりかけている等、明るい話も若干聞こえ始めたが、企業は先が読めず社員の採用を凍結、白紙撤回など、かつて無い有効求人倍率を呈している。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・求人の依頼が大変少なくなっている。特に製造業関係はほとんどない。こうした状態がしばらく続く。
	職業安定所（職員）	・派遣労働者の契約中途解除、雇止めは落ち着いているが、2009年問題でどの程度離職が発生するか予想がつかない。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・就職を希望している卒業生がいるが、求人情報や採用条件が厳しい。企業側が慎重になっている状況がよく分かる。また、次年度の求人情報も非常に少ない。今後企業で受け入れられるような質の高い学生の育成が必要となってくる。
悪くなる	人材派遣会社（社員）	・予算削減で役所にしても民間にしても厳しい要求がある。周りを見回しても良い材料がない。
	人材派遣会社（営業担当）	・3月末で派遣終了ということは、3月末までの収入はあるが、4月からは無くなる。したがって、その影響が实体经济に反映されるのは、4月以降となる。

	職業安定所（職員）	・今後においても非正規雇用労働者の雇止めが増加することが見込まれるほか、正社員を整理解雇する企業も見受けられ、雇用情勢は厳しさを増す。
	職業安定所（職員）	・求職者が大きく増加し、雇用の不安感が大きく、景気が良くなる気配が見えない。